

出席者 学校運営協議員7名、ほか9名

1 学校運営協議会委嘱

2 出席者紹介

3 校長あいさつ

今週末は多くのイベントがある。  
奇譚のないご意見をいただきたい。

4 学校運営協議会について

学校運営協議会の趣旨説明。

5 会長選出

6 協議

①教育目標について

目まぐるしい時代だが確かな技術は時代不変であるため、教育目標に文言を入れた。  
一方でDXなど最新の技術に対応すべく、このように時代に即した文言を入れた。  
スクールポリシーは教育目標に対応した形である。  
学校教育計画は4年計画であり、今年度から新たに4年計画をしたものである。

②令和5年度学校評価及び令和6年度学校目標について

教育目標のページ参照

7 ③校内の取組状況について（各Gからの報告）

カリキュラム開発G 授業評価 県との比較配布 県平均より満足度が高い。

学校管理G 学校生活の防災教育に取り組む。

広報連携G 地域と連携して生徒の学習成果を発信する場を提供したい。

生徒指導G 個に応じた教育相談、今年度の目標は生徒理解を深める。

生徒支援G 相談窓口を広く取りたい。SC・SSW。

文化祭さらに発展して地域の方となかしたい。

キャリアサポートG 昨年度と今年度6月時点での進路状況説明。例年より進路未定が

多い。ハンディ進路室を使ったネットを使った求人システムを活用

総合技術G 資格取得支援に力を入れていきたい。

8 質疑

① 授業評価は工業に関する質問はどの学校でも同じか。→県ですべて同じ書式を使用している。

② 平間銀座サマーフェスタが始まったのは44年前。夏に売上をUP。コロナ前は6週連続で開催。面白い企画が多い。生徒にも達成感ややりがいを感じてほしい。

- ③ 3. 1 1 東日本大震災のときはどうしていたか。  
→相模原の高校の場合、人数確認、自宅に誰がいるか確認。  
電車が動いていないため、帰宅できない。
- ④ 学校で備蓄はどうしているのか？  
→入学時に飲食物などの備蓄をそれぞれの生徒に用意している。  
商店街としては備蓄の関係でなにか協力できれば。  
災害時では、生徒に現金を多少持たせたほうがよいのでは。  
デジタル化はわかるが災害時は現金やテレホンカードなどが役立つこともある。  
意識付けをしたほうがよいと思う。

別の委員より 公衆電話は中学のときに指導されていた。

- ⑤ 中原区でも帰宅困難対策をしている。むやみやたらに避難しない。  
普段も災害時も武蔵小杉にはかなり多数の利用者が多い。  
タワーマンションも2万人が住んでいる。相当な混雑がある。  
一時的には中原区では学校にとどまってほしいとのお願いをしている。  
ぜひ生徒にお話する機会を。

別の委員より

中原区と避難所開設訓練したい。開設したら小学生として何ができるか。  
一緒にご協力できればと考えている。

## 9 情報交換

6月23日読売新聞掲載記事について

クジラのひげを加工して昨年度アクセサリーを制作・販売している。

## 10 その他

今年度このあとの会議予定

第2回日程 10月19日(土)

第3回日程 3月24日(月)